

14.プレート境界のあり様が地震発生に関係する

よく、地震のない国へ住みたいがどこかということ聞かれます。確かに、世界には日本や南アジアのような多発する地域とヨーロッパやアフリカのようにあまり発生の履歴がないところがあります。その違いは地球を覆っているところのプレートの動き方に関係しています。つまり、プレート同士の境界がどう動くか、まるで相撲を取っているかのようなものです。その動きで勝負がついた時に地震が発生するという事です。下表は、プレート境界の4つのタイプについて、整理してみたものです。

境界の種類	特徴	性格診断	相撲に例えて
沈み込み型	大陸プレートの端（接触面）を地下へ引きずるように動くので、端にはひずみがたまりやすい。そのひずみが限界に達すると跳ね上がるように揺れ動く。海溝型地震と呼ばれ、巨大地震が発生する。境界の海側や内陸側でも地震が発生する。巨大地震になりやすいのは、破壊される面積が大きいことによるもので、横方向と深さ方向に広がることによる。つまり、広い接触面にひずみがたまることによる	ストレスをため込みやすい。（周りを気にせずに、継続して事に没頭するタイプ）	懐に入って勝負（相手が耐えきれなくなって勝負が決まる）
離散型	高温のマグマが海底に湧き出してくる場所に生じる境界で、新しく生成されたプレートが離れていく（海嶺）。プレートに力がかからないので大きな地震はない。	わが道を行く、独立独歩のタイプ。相手に関心なし。	注文相撲（相手にかまわずに、勝負に出る）
すれ違い型	隣接するプレートの進行方向が逆向きになっている。海嶺と海嶺をつなぐようなものが多い。サンアンドレアス断層が有名。まれに巨大地震が発生。	その気がない ストイック 力任せの体力派？	はたきこみ （観る方からすると、まったく相手を感じさせない）
衝突型	海洋プレートが沈み込まないで大陸プレートを押し上げる。巨大な山脈の形成に関与。沈み込み型ほどではなくてもひずみはたまりやすい。時に、大きな地震がある。	突貫小僧	一気に押し出し （体力や体形の差を出して、相手を押しまくる）